

文化・芸術・スポーツ・国際

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・栃木

会長 高久和男
住所 〒320-0046 栃木県宇都宮市西一の沢町8-22(栃木県林業会館内)
電話 028-612-1540
会員数 正会員43名 賛助会員185名
法人設立年 2010年 認定 2024年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000489>

メールアドレス son-tochigi@bc.wakwak.com

ホームページ <https://son-tochigi.jimdofree.com/>

Facebook



★ 設立の趣旨

スペシャルオリンピックス(以下、SO)は、知的障がいのある人たちに、様々なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。私たちスペシャルオリンピックス日本・栃木(以下、SON・栃木)は、日常的なスポーツトレーニングや定期的な競技会を実施するとともに、SOの活動を広く知っていただくための広報活動など、様々な取り組みを行っています。

★ 事業の内容等

知的障がい者のスポーツ振興のためのトレーニングプログラムの提供、競技会、研修会を開催しています。

★ 私たちが提供できること

日常的なスポーツトレーニングや定期的な競技会を実施するとともに、SON・栃木の活動を広く知っていただくための広報活動など、様々な取り組みを行っています。これらの活動で培ったノウハウを提供することができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

①現在、栃木県内では約100名の方にボランティアとして協力いただいています。まずは身近にできることから大丈夫。自分らしいスタイルで、SON・栃木のボランティアに参加してみませんか？

②交流スポーツを企業の参加も得て開催することで、企業との交流、連携の強化につなごうと思います。

③SON・栃木の知名度アップに向け、一般県民の方々との交流を強化する場を設けるに際し、企業のホームページや社内報を通じた広報、周知をお願いできればと思います。

④企業の方と一緒に宮まつりなどのイベントに参加したり、共同でイベントを企画・実施したりすることで、SON・栃木への理解を深めていただく場としたいと考えています。



NPO法人岩船山クリフステージ

理事長 高橋隆
住所 〒329-4307 栃木市岩舟町静5133-1(岩舟町商工会館内)クリフ事務局
電話 0282-55-6988
会員数 正会員68名
法人設立年 2004年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000178>

メールアドレス cliff-office@cliff-stage.com

ホームページ <http://www.cliff-stage.com/>

Facebook



Instagram



X



★ 設立の趣旨

ふるさとの山・岩船山の採石場跡地を文化の発信基地と位置付けた音楽文化の振興及び地域の活性化などを目指した活動を行い、ふるさとの自然と人々の輪を一体にすることにより、明るい豊かな地域造りを目指していきます。

★ 事業の内容等

- ①岩船山採石場跡地を活用した野外コンサート事業
岩船山採石場跡地の崖の音響効果を利用し、「クリフ※ステージ」として野外コンサートを1999年から開催しています。
※Cliff(断崖)
- ②岩船山の自然環境を保全するための周辺歩道整備、美化活動
- ③栃木市及び周辺地域の活性化
地域の街路灯にバナーを取り付けPRしたり、商店街のイメージアップを図ります。

★ 私たちが提供できること

- ①音響効果を活かした野外イベントの開催
岩船山採石場跡地の崖の音響効果を活かし、「クリフステージ」として野外コンサートやイベントなどを開催することができます。
イベント開催時には、スタッフの派遣が可能です。
- ②イベント企画・会場利用のご相談受付
アーティストの招致など、イベント企画に関するご相談にも対応いたします。
会場の貸し出しについても、お気軽にご相談ください。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

地域の活性化や音楽文化の振興のため、イベントや多様なフェスを企業や団体と連携して開催していきたいと考えています。

現在は、旅行会社とのタイアップで爆破体験で撮影を行う企画があります。岩船山採石場跡地は、野外でありながら音響やライトアップも魅力のひとつです。例えば、車好きの方向けのイベントで車を展示したり、コスプレ好きな方たちが集まるイベントを開催し、撮影会をしたりすることも可能です。

企業や団体と共催し、地域や商店街の活性化を図っていければと思います。



NPO法人山本有三記念会

会長 大塚幸一
住所 〒328-0015 栃木県栃木市万町5-3
電話 0282-22-8805
会員数 正会員146名
法人設立年 2003年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000127>

メールアドレス robou@yuzo-kinenkai.jp

ホームページ <https://www.yuzo-kinenkai.jp>(記念館)

★ 設立の趣旨

山本有三の生涯にわたる業績をたたえ、その精神を人づくりに活かし、文化の薫り高いまちづくりに貢献することを目的とします。

★ 事業の内容等

①山本有三ふるさと記念館の運営

入館料:大人200円・中学生以下無料/月曜休館(祝日開館・翌日休館)

②有三祭、——一忌(有三忌)

有三祭6月15日(無料開放)・——一忌1月11日(文学忌)

③子ども朗読フェスティバル・路傍の石作品等コンクール

④読書教室・文学講座・出前講座などの開催

⑤啓発紙の発行(年2回)

⑥資料収集

随時収集/故永野賢氏の山本有三関係資料の整理、研究など

⑦路傍の石文学賞、路傍の石俳句大会

路傍の石子ども俳句大会の開催(路傍の石文学賞は現在休止中)

⑧図書館の管理運営

栃木市図書館6館の指定管理者(2007年～)

★ 私たちが提供できること

①読書を通じた青少年の健全育成

青少年の健全育成を目指して、読書の推進による子ども朗読フェスティバルや路傍の石作品等コンクール、読書教室など、発表の機会を作っています。

山本有三が残した作品などを通して、有三が伝えなかったその精神を明らかにし、地域文化や街の活性化の向上に役立てたいです。

②図書館運営を通じた市民との協働

公共図書館の指定管理者として17年以上の実績を通して、他の自治体でもNPO法人しかできない市民との協働を目指した運営の提供、ボランティアの育成と参加募集をしています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

山本有三と国の登録有形文化財を活かした観光ツアーなどのほか、山本有三とその作品をモチーフとした商品開発を行いたいと思います。



NPO法人アーシャ=アジアの農民と歩む会

代表理事 牧野一穂
住所 〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢83-17
電話 0287-47-7840
会員数 正会員50名 1団体
法人設立年 2004年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000189>

メールアドレス info.jp@ashaasia.org

ホームページ <http://ashaasia.org/>

Facebook



★ 設立の趣旨

自由化経済の負の側面が顕著なアジア農村の課題に対し、栃木を拠点とする本会は、経験豊富な発起人たちの知見を活かし、持続可能な農業の普及、農村女性の地位向上、小規模農民の自立を市民参加型で支援します。国際協力と世界平和の推進に貢献することを目指しています。

★ 事業の内容等

①農村開発・農業開発支援

インドにおける小規模・貧困農民が健全で、豊かなくらしを実現できるよう、農作物の生産、食品加工・販売に携わる農業組合の運営支援を行っています。持続可能な有機農業促進、無添加の農産加工・販売を軸に農民の自立と農村の持続可能な発展を目指します。

②人材育成支援

農村リーダーのための持続可能な農業・農村開発コースや、水稻栽培農家のための稲作セミナーを実施しています。

農村女性の収入向上のための事業として、基礎裁縫クラス研修やフェアトレードで扱う手芸品のプロフェッショナル研修コースを実施しています。

③調査研究、啓発・広報

ワークキャンプ・インターンシップ研修プログラム・スタディツアーの開催や会報の発行をしています。

日本国内では、学生・市民のためのセミナーを実施して活動紹介を行っています。

★ 私たちが提供できること

①モリンガ関連商品のフェアトレード

北インドで有機栽培したモリンガパウダーや関連商品のフェアトレードを行うことができます。

②ハンディクラフト商品のフェアトレード

北インド農村女性の雇用促進のために、縫製技術のレベルアップを図ってきました。彼女たちが心を込めて縫製した服飾や手刺繍を施した布バッグやヘアアクセサリ、ペンケースなどのハンディクラフト商品などについてフェアトレードを行うことができます。

③伝統工芸を活かした服飾品の展開

インド綿の中でも伝統工芸とも言われるカディコットン(手紡ぎ糸を使った生地)やハンドブロックプリント生地を使ったヨガパンツ、スカート、エプロンなどの服飾品にもチャレンジしています。

④栄養食品の普及

現地では、農村栄養保健事業として、北インド原産で92種類以上の栄養成分や機能性成分豊かなモリンガ葉を使った健康料理や豆腐を摂り入れた食生活の普及を目指し、定期的に農村での啓発活動や市街地での試食販売会などを実施しています。日本でも、モリンガパウダーや生葉を使ったパンやカレー、デザートなどの栄養料理試食会を開催することができます。

⑤アジア農村の課題発信

アジアの農村の課題をお伝えすることができます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみよう

①フェアトレード商品を取り扱ってみませんか？

②次世代のスーパーフードと呼ばれる92種類以上の栄養成分・機能性成分を含むモリンガパウダーの試飲・試食会など一緒にいかがですか？



NPO法人MCAA

理事長 小貫善二
住所 〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子706-2(MCAA6gallery)
電話 0285-81-7121
会員数 正会員10名 賛助会員39名
法人設立年 2011年

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000546>

メールアドレス mcaa-director@mcaa-web.net



★ 設立の趣旨

東日本大震災をきっかけに設立したNPO法人です。
作家の作品発表の場の提供、割れた陶磁器の再利用「陶ジャリ」、国内外との文化交流事業を行っています。

★ 事業の内容等

- ①益子焼作家の創作環境整備、ネットワークづくり
ギャラリーでの常設展示や春秋の陶器市への参加など、窯業従事者をはじめとする、やきもの町・益子を取り巻く人々に対して、作家のネットワークづくりをしています。
- ②MCAA6galleryの運営
作家の企画展などを行っています。
- ③災害支援
東日本大震災から続く災害に対し、支援を行っています。能登半島地震被災者への募金活動を行っています。
- ④国内外交流事業
海外から作家を招へいし、ワークショップや交流会を開催しています。

★ 私たちが提供できること

益子陶器市への参加を通じてのチャリティセールと募金活動を行っています。
益子町観光協会と共催で作家や窯元から寄付いただいた作品を陶器市で販売し、売り上げを災害で被災された皆様に寄付しています。能登半島地震の時には、被災した珠洲焼と輪島塗の工芸家へ寄付を行っています。被災地や被災された工芸家へ寄付したい際に協力できます。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

年2回の益子陶器市では被災地に向けた募金活動を実施することがあります。
益子陶器市へいらした際には、MCAA6ギャラリーにもお立ち寄りください。
募金活動や陶器市での協働プロジェクトを実施してみませんか。



認定NPO法人もうひとつの美術館

代表理事 梶原紀子
住所 〒324-0618 栃木県那須郡那珂川町小口1181-2
電話 0287-92-8088
会員数 正会員57名 賛助会員36名 寄付会員16名
法人設立年 2001年 認定 2013年～

事業報告等(内閣府NPO法人ポータルサイト)
<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/009000084>

メールアドレス mob@nactv.ne.jp
ホームページ <https://www.mobmuseum.org/>



★ 設立の趣旨

「もうひとつの美術館」は、栃木県那珂川町の里山に建つ明治大正の面影を残した旧小口小学校の校舎を再利用して2001年に開設された美術館です。ハンディキャップのある人たちの芸術活動をサポートしながら、「みんながアーティスト、全てはアート」をコンセプトに、年齢、障がいの有無、専門家であるなしを超え、アートを核に地域・場所や領域をつないでいく活動をしています。

★ 事業の内容等

- ①自主企画展示(年2～3回)にて、主に障がいのある人たちのアート作品を展示
- ②フォーラムやワークショップ(もうひとつのくらぶ)などの開催
- ③主に障がいのある人たちの作品を収集し、作品の貸し出しと出前美術館の開催
- ④創作活動の場の提供(展示棟、ワークショップ室、ギャラリーの貸し出し)
- ⑤会報「MB通信」の発行
- ⑥ミュージアムショップにて、全国の福祉事業所のグッズや関連書籍などの販売
- ⑦ギャラリー&カフェ「M+Cafe」の営業
- ⑧障がいのある人たちの創作活動の支援(2017年～とちぎアートサポートセンターTAM

を設置)

★ 私たちが提供できること

- ①出前美術館による作品紹介
栃木県内の公共施設に出向き、当館所蔵の作品を展示紹介するノウハウを有しています。次のような出前美術館を開催しています。「もうひとつの美術館 出前美術館」(2014年～2016年 栃木市栃木文化会館)、「旧青木家那須別邸にて ART369×もうひとつの美術館」(2019年 那須塩原市)
- ②出張ワークショップ
栃木県内の小学校・中学校や大学などへ伺い、次のような出張ワークショップを開催することができます。(宇都宮大学教育学部附属特別支援学校でのドローイングワークショップ(2017年)、益子特別支援学校、西原小学校特別支援学級(2018年)、獨協医科大学、塩谷郡特別支援学級、那須塩原市青年会議所(2019年))
- ③障がいのある人たちの作品紹介(二次利用)
栃木県内で創作活動をしている障がいのある人たちの作品を「とちぎ障害者プラン21」(2021年、2024年)、「栃木県障害者文化祭カレンダー」(2022年)で紹介しています。

★ 企業や他の団体と一緒にやってみたいこと

- ①栃木県内の小学校・中学校や企業へ伺い、当館所蔵の作品を展示紹介する出前美術館を開催したいです。
- ②栃木県内の企業を訪問しての出張ワークショップを開催したいです。
- ③栃木県内で創作活動をしている障がいのある人たちの作品を企業に紹介し、二次利用につなげます。
他県(埼玉県)での障がいのある人たちの作品をパッケージデザインしたことはありますが、栃木県内の民間企業との協働は残念ながらまだないので、是非とも実現させたいと思います。

